

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和 2 年 1 月 30 日公表

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		個別に療育の時間と、遊びの時間をずらすことで場所を適切に活用しています。	定員に見合ったスペースを確保していますが、長期休暇中等は手狭感があり、また音が遮断出来ないために騒々しく感じられる時もありますが、工夫して参ります。
	2	○		法令を遵守した上で、児童人数に対して、余裕を持った療育が行える人数の配置で対応しています。	今後も継続し適切な配置に努めます。
	3	○		施設内はバリアフリーですが、施設が2階に位置しています昇降できるような配慮をしています。	フラットではあるものの、児童にとって走りたくなる間続きの構造、ドアが勢いよく閉まる等の点があり、対応策を工夫して参ります。 また、パニック時に落ち着けるカムダウンのスペースの導入を検討して参ります。
	4	○		清潔に保たれるよう配慮し、療育開始前や終了後、には教材の清掃、指導室、トイレの清掃と除菌を行っています。	今後も同様に心地よさと清潔な空間の維持に努めて参ります。
業務改善	5	○		職員間で話し合いの場を設け、毎月のリフレクション会議で職員全員で改善点を話し合い確認しあっています。	今後も定期的な会議で、共通認識、意思統一の徹底を図り、意見交換を行い、より良い療育を目指して参ります。
	6	○		毎年アンケート調査を実施し、評価表のご意見と、日々の保護者様のご意向を基に業務改善に努めています。	今後も全職員で共通認識を持って業務改善に取り組みます。
	7	○		保護者様からの評価、並びに事業所の自己評価の結果は、COMPASS の公式 Web サイトで公開いたします。	今後も毎年 Web 上で自己評価の公開を行なって参ります。
	8	○		第三者として第三者委員を選定し評価結果を業務改善に繋げていますが、現時点では、第三者による外部評価は行われていません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題と致します。
	9	○		部会等の研修会には積極的に参加し、参加後に情報共有を行っています。	今後も積極的に酸化し、研修機会の確保に努めます。
適切な支援の提供	10	○		保護者様との面談で児童の事業所で、家庭で、学校での様子、変化等への情報共有を行い、児童の課題に応じた計画を作成しています。	今後も定期的な個別面談を行い、児童の現状や変化を踏まえ、計画を作成して参ります。
	11	○		児童の状況把握の為に会社で統一されたツールの活用と共に、場合によってはカードを利用する等、様々な標準化ツールを利用しています。	今後も継続して正確にアセスメントできるように努めて参ります。
	12	○		定期的な保護者様との面談を行い、児童の今後の課題や、保護者様の意向を検討し、ガイドラインの項目に沿った支援内容を設定し提示しています。	今後も継続してガイドラインから必要項目を選択し、適切で具体的な支援内容になるように努めて参ります。
	13	○		支援計画は支援に携わる職員全員が周知し、計画に沿った支援を行なっています。	今後も支援計画に沿った支援が行われるように努めて参ります。
	14	○		支援計画をもとに全職員で意見を出し合い立案しています。	今後も計画に沿った支援が行われるようチームで立案を行なって参ります。
	15	○		個々の児童に関しては、個別に見直しを行い、集団では季節に合わせた活動や外出等を考え、工夫して職員会議で検討しています。	児童の希望も取り入れて、平日の連続した活動、長期休みには季節の行事や制作等も取り入れ変化を持たせて参ります。
	16	○		適宜、支援計画や個々の児童の状況を見ながら個別と集団活動を選択しています。	今後も児童に状況を考えて支援計画を作成していきます。
	17	○		その日の支援内容について職員の意見を踏まえ、話し合いを行い、支援内容や役割分担について打ち合わせを行なっています。	今後も欠かさず打ち合わせを行い、情報共有と認識の一致に努めます。
	18	○		支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	今後も報連相を続け、小さなことでも意見を出し合い振り返りを行える様に図って参ります。
	19	○		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	今後も同様に記録を行い、検証・改善につなげていきます。
20	○		定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	今後も定期的に児童の現状把握を行い、保護者様のご意向も確認しながら計画の見直しを判断していきます。	
関係機関や保護者との連携	21	○		担当者会議には児童の状況を一番把握している児発管や担当職員が参加しています。	今後も同様に児発管と担当者がチームで参画致します。
	22	○		関係機関と密に連絡を取り、連携しながら、必要に応じて児童の様子や日々の支援について確認し連携を行っています。	今後も関係機関との関わりを継続し、連携した支援ができるよう努めて参ります。
	23	○		現時点では医療的ケアが必要な児童のご利用はありません。	今後、対象児童が利用することになった場合には、関係機関と綿密な打ち合わせと調整の上、受け入れに向けて態勢を整えられるよう検討して参ります。
	24	○		現時点では医療的ケアが必要な児童のご利用はありません。	今後、対象児童が利用することになった場合には、関係機関と綿密な打ち合わせと調整の上、受け入れに向けて態勢を整えられるよう検討して参ります。
	25	○		送迎時や必要に応じて幼稚園、保育園への電話連絡や訪問を行い、相互理解を図っています。	今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と、相互理解を図って参ります。
	26	○		現在関わっている関係機関とは会議や送迎時等の機会に情報交換、情報共有を行っています。 進学先へは必要に応じて連絡をとり、保護者様と交え関係機関と情報共有を行っています。	今後も進学先への情報共有や相互理解を図り、移行支援を行って参ります。
	27	○		専門機関や支援部会など関係機関の研修や会議へ参加し、必要に応じて専門機関と連携し、助言を受けています。	今後も同様に連携し、研修に参加し、研鑽に努めます。
	28	○		殆どの児童が保育園や幼稚園へ通っているため日常的な交流はできていると考えます。 事業所企画での障害のない子どもとの交流活動は現時点で行っていません。	個人情報観点から、保護者様のご意向を確認し、ニーズによっては検討し、今後の課題とします。
	29	○		積極的に子ども部会や協議会へ参加しています。	今後も継続して参ります。
	30	○		平素は送迎時や連絡帳で相互に状況を伝えあっていますが、状況に応じて電話連絡や自宅訪問も行って参ります。 ご家庭への支援も重要だと考え、いつでも相談できる体制を整えています。	今後も引き続き、保護者様と情報共有の充実を図り共通理解に努めます。
保護者への説明責任等	31	○		日々よりお声掛けを行い、保護者様との信頼のおける関係構築を図っています。 ご相談には迅速に対応し、面談、助言を行っています。	今後もご家族への支援に努めます。
	32	○		契約時に保護者様へ丁寧に説明し、質問へも随時対応しています。	これからも、分かりやすく丁寧な説明を心掛けて参ります。
	33	○		共有ガイドラインが利用児童の課題のすり合わせを行い、十分説明を行った上で保護者様より理解を得ています。	今後も同様に、ご意向や児童の状況に応じた支援計画について丁寧なご説明に努めます。
	34	○		連絡帳でのやりとりや、送迎時、また電話等でご相談を受け、希望される方には定期的な面談を行っています。	今後も同様に対応して参ります。
	35	○		保護者様参加の行事などを行い、保護者同士が連携を図れる機会を設けています。	今後も保護者様同士の交流を深めていけるよう支援に努めて参ります。
	36	○		申し入れがあった際は、速やかに職員へ周知し、迅速に対応できるように体制を整えています。	今後も引き続きご相談や申し入れについては迅速丁寧に対応して参ります。
	37	○		公式 Web サイトのブログ事業所の様子をお伝えする目的で、SNS で情報は発信し、学期ごとの節目では季刊誌を発行しています。	今後も継続して、保護者様へサイトのご案内も行って参ります。
	38	○		個人情報の書類書庫のカギを閉める、閲覧後はすぐに書庫に戻すなど、個人情報については職員個々が、意識して取り組んでいます。	引き続き個人情報は慎重に取り扱い、保管にも配慮を重ねて参ります。
	39	○		児童や保護者様に合わせ、言葉だけでなく、ジェスチャーや手話、メモ等を用いて分かりやすく情報を伝えるよう配慮しています。	今後も連絡帳を充実する等、お互いの情報がスムーズに交換し合えるように努力していきます。
	40	○		事業所の行事を行う際には近所の方を招待すべく検討を行い、告知し、また児童と共に地域行事に参加する等交流を行っています。	今後も地域住民参画の行事については検討して参りたいと考えています。
非常時等の対応	41	○		事業所にはマニュアルを掲示し迅速に対応できるようにしております。	各種マニュアルをご覧頂けるように保護者様へも継続してお知らせして参ります。
	42	○		様々な災害を想定し、どのような状況でも対応できるように計画を立て児童も参加して訓練を行っています。	今後も、定期的な避難訓練を継続して参ります。
	43	○		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。 また全職員が把握し、緊急事態に適切な対応が行えるよう配慮しています。	今後も、同様に対応して参ります。
	44	○		保護者様より面談時に詳しく情報を頂き、全職員で共有し、希望される方には定期的な状況確認を行い、細心の注意を払っています。	保護者様からの情報や、医師の指示を順守し、職員間の周知を徹底し、都度振り返り食の提供を行う場合は細心の注意を払います。
	45	○		ヒヤリハットが発生した時は周知し、書面作成を行い、ヒヤリハット報告書を作成しています。	今後も継続してヒヤリハット事例を記録し、事故防止への対応を重ねて参ります。
	46	○		外部の虐待防止の研修や、参加した職員が事業所内研修で周知を行っています。	今後も虐待防止への研修や討議は続け、研鑽に努めて参ります。
	47	○		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合はあらかじめ文書により保護者様の同意を得ることにしております。	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、やむを得ず、身体拘束を行う場合はあらかじめ文書により保護者様からの同意を得ることに図って参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。